

# 水害対策研修会

令和4年10月12日

災害には自然災害/人為災害など様々な種類があります。その中でも「自然災害」には、地上又は地下で起こる災害を「**地象災害**」【地震/津波/火山/土砂など】、地上より上の天候の変化による災害の事を「**気象災害**」【雨・洪水/大雪/風/雷など】と呼ばれています。

今回、「気象災害」の大雨・洪水に備えた水害対策研修会を行いました。



## ◇備蓄

アルカディアにある備蓄倉庫には、2種類あり一つには利用者150名分×3日間の、「おかゆ/たんぱく源となる缶詰/フルーツ缶詰/ジュース」を用意しており、もう一方には職員を含めた170名分×3日間の「水2ℓ 306本」が用意されております。



※こちらの写真は、階段から地下への浸水を防ぐ場面ですが、職員に分かりやすくするために、逆側からビニールシートで包んでいます。

## ◇水嚢

45ℓ程度のゴミ袋を2枚重ねし中に約20ℓの水を入れます。中の水がこぼれないように2枚の袋を別々に結び、水嚢袋に入れます。直接床に置くと浮いて流されてしまう事もありますので、プランターや高さが出る物の上に置き、ダンボールやビニールシートで水を防ぐ側から包みます。



## ◇土嚢

事前に用意してある土嚢袋（約20kg）を準備。正面玄関からの浸水を防ぎます。土嚢袋は単純に横並びにするのではなく、若干重ね隙間を極力無くします。2段目からは下の土嚢と互い違いになるように重ねて行きます。

## ◇まとめ

今回の水害対策研修では、各職員が混乱せずスムーズに対策/準備が行えるよう周知する目的で行われました。

職員一人ひとりが慌てず的確な行動と役割分担が災害では重要になって来ます。

災害はいつ起こるか分かりませんが、事前に災害に対する準備や、身近な人との災害時のルールを決めておくと思いいます。

